



しゅく だいたしかめひょう

12月10日～1月6日

おわたたら サイン	冬休みのしゅくだい	
1		音読・教科書のこれまで学習したところを読みかえす ・4週目は、自分が書いた「お話」と教科書 P76～P79 を読む ・教科書いがいの本も読みましょう。
2		単元のふりかえり「おはなしのさくしゃになろう」
3		お話を書く（「はじめ」「中」「おわり」の3ページを書く）別冊 ※「中」と「おわり」には絵もかく（色をかならずぬる）
4		冬休みのテスト①・②
5		「つづけてみよう⑳～㉓」 毎週金曜日にていしゅつ
6		二年生のかん字 かん字の読みがなをつけましょう④・書きましょう④ かん字の読みがなをつけましょう⑤・書きましょう⑤
7		これまでならったかん字①・②・③（このひょうのかん字から読むテスト㉔と書くテスト㉔をしゅつだいします）
8		絵日記2まい（1まいはお正月のこと、もう1まいはそれいがいの冬休みのこと）をかく
9		1月のカレンダーを作る（書きぞめ・新年のめあてを書く、うさぎの絵に色をぬるか、おり紙でうさぎをおってはる）12月30日5時までに提出
10		12月の歌「お正月」を歌う。
11		おうちの人とたくさん日本語で話す

- ・しゅくだいは、4週間分あります。はじめに、ぜんぶのページを見て、おうちの人といっしょに計画を立てましょう。
- ・冬休み中も毎日音読をしましょう。
- ・日記「つづけてみよう」も毎日書きましょう。（絵日記をかいた日は書かなくてよい）
- ・これまでならったかん字のおさらいをしましょう。かん字を読むテストと書くテストは、「これまでならったかん字①～⑨」の中かしゅつだいします。



冬休み音読カード

きのうよりじょうずに読めたかな



よくできた 😊 できた 😊 もうすこし 😞

<div style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; font-weight: bold;">No.1</div> 読んだ本の名前や教科書のページ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">読んだ日</div> 読みのめあて							
	10	11	12	13	14	15	16
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 点や丸でくぎってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ ないようが分かる							
おうちの人 の し る し							
先 生 の し る し							

<div style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; font-weight: bold;">No.2</div> 読んだ本の名前や教科書のページ <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">読んだ日</div> 読みのめあて							
	17	18	19	20	21	22	23
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 点や丸でくぎってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ ないようが分かる							
おうちの人 の し る し							
先 生 の し る し							



冬休み音読カード

きのうよりじょうずに読めたかな



よくできた 😊 できた 😊 もうすこし 😞

<div style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; font-weight: bold;">No.3</div> <p style="margin-left: 20px;">読んだ本の名前や教科書のページ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px;">読んだ日</div> <p style="margin-left: 20px;">読みのめあて</p>							
	24	25	26	27	28	29	30
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 点や丸でくぎってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ ないようが分かる							
おうちの人 の し る し							
先 生 の し る し							

<div style="border: 2px solid red; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; font-weight: bold;">No.4</div> <p style="margin-left: 20px;">読んだ本の名前や教科書のページ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-left: 100px;">読んだ日</div> <p style="margin-left: 20px;">読みのめあて</p>							
	31	1/1	2	3	4	5	6
① しせい正しく							
② 大きな声ではっきりと							
③ 点や丸でくぎってゆっくりと							
④ 正しくまちがえないで							
⑤ ないようが分かる							
おうちの人 の し る し							
先 生 の し る し							

お話のさくしゃになろう

一 線のことばのいみとして、合うものに○をつけましょう。

- ① (あ) () しごとを ひきうける。
- (い) () せなかにのせる。
- (う) () 大切に手でもつ。

同じことばでも、
いろいろないみをもつことがあるから
気をつけてね。



- ② 何があつたのかとたずねる。
- (あ) () 分からないことを 人にきく。
- (い) () だれかの家に あそびに行く。
- (う) () なくしたものを さがしもとめる。
- ③ 休んでいた友だちに、あしたのもちものをつたえる。
- (あ) () 聞いてきたことをべつの人に知らせる。
- (い) () ある場しよから、べつの場しよにうつす。
- (う) () 何十年も後までのこるようになる。

二 つぎの文ししょうを読んで、もんだいに答えましょう。

ぼくは、ピッピ。くまの子ども。
森でいちばん大きな木のねもとの、
ほらあなの中でくらししている。
ある日、ぼくはおかあさんとど
んぐりをひろいに出かけた。
いつもより とおくまで行くか
ら、はぐれてはいけなないよ。
と、おかあさんに言われたのに、
まいごになってしまったんだ。
でも、友だちのきつねのチツチ
が、ぼくをあんないしてくれた。

(1) 上の文ししょうには、会話が
一つあります。かぎ「」しを
かしよに つけましょう。

(2) この文ししょうのとくちよう
として、合うものに○をつけ
ましょう。

- (あ) () じんぶつが話してい
るように書いている。
- (い) () おかし話のような話
し方で書いている。
- (う) () ピッピがくまだと分
からないように、書
いている。

冬休みのテスト ①

★ 文しょうを読んで、答えましょう。

ツバメは、日本では、春から秋まで全国で見ることのできる鳥です。しかし、冬になると、ほとんど見られなくなってしまいます。

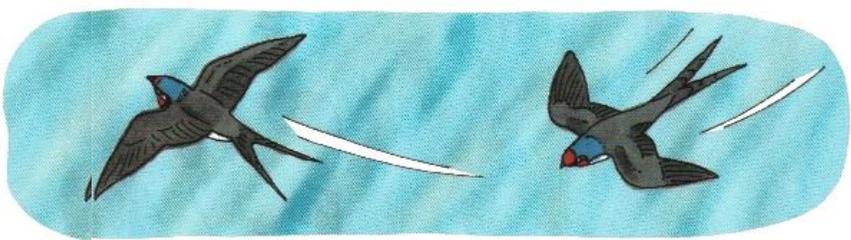
これは、ツバメが、春から夏、日本ですをつくり、たまごをうんで、ヒナをそだてたあと、秋には、インドシナ半島やマレー半島、オーストラリアの北部などに行つて冬をすごすためです。

このように、きせつによつて、日本とほかの国との間を行ったり来たりすることを「わたり」といいます。そして、わたりをする鳥を「わたり鳥」とよびます。

ツバメのように、春に来て、秋になると南に行く鳥は、わたり鳥のなかでも、「夏鳥」といわれます。冬の間だけ日本にいる鳥は「冬鳥」です。

また、春と秋、南の国と北の国との間を行き来しているとちゆうに、日本によつて行くわたり鳥もいます。こうしたわたり鳥は「旅鳥」とよばれます。

〔公益財団法人 日本野鳥の会「ツバメのなかまたち」による〕



5

10

15

20

25

1 ツバメを日本で見ることができるのは、いつですか。

□ から □ まで。

2 ツバメは、日本でどんなことをしていますか。

（ ）をつくつて、たまごをうみ、（ ）をそだてる。

3 ツバメが冬をすごす場所としてあげられているのは、どこですか。

（ ）半島 （ ）半島 （ ）の北部

4 「わたり鳥」とは、どのような鳥ですか。

（ ）によつて、日本とほかの国との間を（ ）する鳥。

5 つぎの①・②のような鳥を、何といいますか。

① 春に日本に来て、秋に南に行くわたり鳥。

② 冬の間だけ日本にいるわたり鳥。

6 「旅鳥」とは、どんな鳥ですか。（二つに○をつけましょう。）

ア （ ）一年中、旅ばかりしている鳥。

イ （ ）旅のとちゆうで日本によつて行く鳥。

ウ （ ）春と秋だけ国と国を行き来している鳥。

冬休みのテスト ②

1 のかん字の読みがなを書きましよう。

1 夜ヨになる。

2 電話デンワをかける。

3 古コい船フネにのる。

4 外ソトが明アるい。

5 冬フユを楽タノシむ。



2 □にかん字を書きましよう。

1 □カお
をあらう。

2 □アたら
しいノート。

3 □ウた
を □ツく
る。

4 犬イヌの □ナ
き □ゴえ
。

5 □イえ
に □カえ
る。

6 □オとうと
のしつもん
に □コた
える。

3 つぎのなかまのことはを、□から二つずつえらんで、かん字になおして書きましよう。

1 教科

2 一日

ごぜん さんすう ごご こくご

4 つぎの文の—は、主語シヤクゴです。述語ジツゴをさがして書きましよう。

1 わたしは えきまで バスに のる。

2 図書館カクの本は とても おもしろい。

5 のかん字の読みがなを書きましよう。

1 二年生ニニシになる。

2 妹イモが生ナまれる。

3 ひげヒゲが生ナえる。

4 花ハナを生ナける。

6 つぎの文から、かたかなで書くことばを四つさがして、かたかなで書きましよう。

どれすをきて、がらすのくつをはき、
しんでれらのやくをやったら、みんなが
ぱちぱちはくしゅをしてくれました。



生

つづけてみよう③⑥

(十二月十日～十二月十六日)

心にこったことを書いてみましょう。(できごと・見つけたこと・はじめて
知ったこと・本で見つけたことば・人に言われたことば など)



心に
のこった
できごと

16日 (金)	15日 (木)	14日 (水)	13日 (火)	12日 (月)	11日 (日)	10日 (土)	日

つづけてみよう③⑦

(十二月十七日～十二月二十三日)

心にこったことを書いてみましょう。(できごと・見つけたこと・はじめて
知ったこと・本で見つけたことば・人に言われたことば など)

心に
のこった
できごと



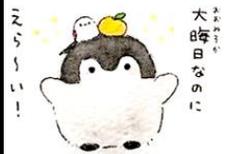
23日 (金)	22日 (木)	21日 (水)	20日 (火)	19日 (月)	18日 (日)	17日 (土)	日

つづけてみよう③⑧

(十二月二十四日～十二月三十日)

心にこったことを書いてみましょう。(できごと・見つけたこと・はじめて
知ったこと・本で見つけたことば・人に言われたことば など)

心に
のこった
できごと



30日 (金)	29日 (木)	28日 (水)	27日 (火)	26日 (月)	25日 (日)	24日 (土)	日

つづけてみよう③⑨

(十二月三十一日～一月六日)

心にこったことを書いてみましょう。(できごと・見つけたこと・はじめて
知ったこと・本で見つけたことば・人に言われたことば など)

心に
のこった
できごと



6日 (金)	5日 (木)	4日 (水)	3日 (火)	2日 (月)	1月1日 (日)	31日 (土)	日

二年生のかん字 かん字に読みがなをつけましょう ④

① 六才の時、汽車で海べに行った。

② 多色のえんぴつで船の絵をかく。

③ 市内は交通がべんりです。

④ 夜明け前に東の空で星が光った。

⑤ 高校の理科室に何回も行った。

※○数字は、がくせいが、がくせいを、がくせいする、がくせいです。①は中学校、②は高校でなっています。

(6) 袁 エン ・ 動物園	(5) 里 リ ・ 理科	(4) 生 セイ ・ 火星	(3) 交 コウ ・ 学校	(2) 会 カイ ・ 絵画	(1) 寺 ジ ・ 時間
・ 遠足	・ 表裏	・ 性別	・ 効果	・ 持参	
			・ 郊外		

ならって
いないかん字
もあるけど、
読み方は
同じだよ。



二年生のかん字 かん字に読みがなをつけましょう ⑤

① 友だちは、朝、読書をする。

② 赤ちゃんは頭の毛がまだ少ない。

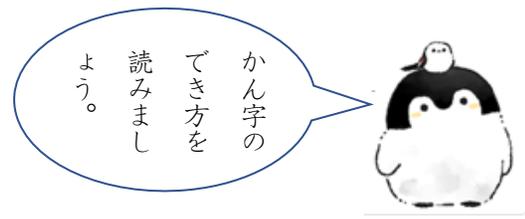
③ 池の魚に毎朝えさをやる。

④ 今さっき昼食で牛肉を食べた。

⑤ この店は新しい米を売っている。

友	朝	頭	肉	米
とも ユウ 友だち 親友 右手と右手を組み合わせた形。手を取り合って助け合う友・仲よしのこと。	あさ チヨウ 朝の会 朝礼 草(ヤ)が四つと日と月とを合わせた形。草の間に日がのぼり、まだ月が残っている朝を表している。	あたま トウズ 頭をかく 先頭 頭上 豆(まめ・トウ・ズ)十頁で、トウ・ズと読む。頁は、儀式用のぼうしをつけた人を横から見た形。	ニク 牛肉 肉のかたまりの形。ななめの二本の線は、きん肉のすじを表している。	こめ ベイマイ 生米 米作 白米 実がついているいねの形。 ※麦(ホト)は麦、ふみをしている形からできた。





書けなかったかん字をれんしゅうしよう

ぜんぶ
書けたかな。



⑤ この みせ は あたら しい こめ を う っ ている。

④ いま さっ き ちゅう で ぎゅう を にく た べ た。

③ いけ の さかな に まい あさ え さ を や る。

② あか ちゃん は あたま の け が ま だ すく ない。

① とも だ ち は、 あご、 じく しよ を す る。

○声に出して読みましょう。

これまでにならったかん字①

ぜんぶ
読めたかな？



光	岩	魚	海	線	妹	姉	店	刀	今	体	数	形	風	話	肉	春	絵	南	雪
ひかり	いわな	さかな	うみ	せん	いもうと	あね	みせ	かたな	いま	からだ	かず	かたち	かぜ	はなし	にく	はる	え	みなみ	ゆき
何	紙	夜	弟	兄	母	父	声	外	昼	間	家	顔	朝	鳥	頭	雲	羽	点	丸
なに	かみ	よる	おとうと	あに	はは	ちち	こえ	そと	ひる	あいだ	いえ	かお	あさ	とり	あたま	くも	はね	てん	まる
お茶	体いく	里いも	友	冬	心	歌	麦	戸	首	馬	秋	米	船	台	道	西	寺	池	黒
おちや	たいいく	さといも	とも	ふゆ	こころ	うた	むぎ	と	くび	うま	あき	こめ	ふね	だい	みち	にし	てら	いけ	くろ

これまででならったかん字②

○声に出して読みましょう。

高い	多い	話す	書く	行く	言う	思う	同じ	近い	古い	帰る	太る	聞く	読む	広い	歩く	合う	作る	来る	通る
たかい	おおい	はなす	かく	いく	いう	おもう	おなじ	ちかい	ふるい	かえる	ふとる	きく	よむ	ひろい	あるく	あう	つくる	くる	とおる
足りる	考える	明るい	食べる	教える	止まる	当たる	晴れる	歌う	光る	回る	学ぶ	鳴く	答え	細い	後ろ	知る	買う	長い	切る
たりる	かんがえる	あかるい	たべる	おしえる	とまる	あたる	はれる	うたう	ひかる	まわる	まなぶ	なく	こたえ	ほそい	うしろ	しる	かう	ながい	きる
画用紙	日曜日	今週	教室	会社	水中	三角	十回	一万	五組	読書	空きばこ	親しむ	楽しい	数える	やり方	出会う	新しい	明ける	分かる
がようし	にちようび	こんしゅう	きようしつ	かいしゃ	すいちゅう	さんかく	じっかい	いちまん	ごくみ	どくしょ	あきばこ	したしむ	たのしい	かぞえる	やりかた	であう	あたらしい	あける	わかる



これまででならったかん字 ③

○声に出して読みましょう。

時間	じかん	公園	こうえん	星空	ほしぞら
電話	でんわ	金魚	きんぎょ	少ない	すくない
何時	なんじ	毎日	まいにち	走る	はしる
会話	かいわ	町内	ちやうない	交番	こうばん
毛糸	けいと	風車	かざぐるま	遠足	えんそく
日記	にっき	当番	とうばん	新聞	しんぶん
下山	げざん	親友	しんゆう		
理科	りか	生活	せいかつ		
土地	とち	名人	めいじん		
市場	いちば	半分	はんぶん		
自分	じぶん	一番	いちばん		
元気	げんき	図書	としよ		
国語	こくご	人間	にんげん		
汽車	きしゃ	音楽	おんがく		
野原	のはら	東京	とうきやう		
午後	ごご	大切	たいせつ		
雨戸	あまど	会話	かいわ		
黄色	きいろ	算数	さんすう		
名前	なまえ	午前	ごぜん		
図工	ずこう	広場	ひろば		



からだ	かず	かたち	かぜ	はなし	にく	はる	え	みなみ	ゆき
ひかり	いわ	さかな	うみ	せん	いもうと	あね	みせ	かたな	いま
あいだ	いえ	かお	あさ	とり	あたま	くも	はね	てん	まる

これまでにならったかん字④

○かん字を書きましよう。



これまでにならったかん字 ⑤

○かん字を書きましよう。

ぜんぶ
書けるかな？



な に	か み	よ る	お と う と	あ に	は は	ち ち	こ え	そ と	ひ る
う ま	あ き	こ め	ふ ね	だ い	み ち	に し	て ら	い け	く ろ
お ち ゃ お	た い い く た い い	さ と い も	と も	ふ ゆ	こ こ ろ	う た	む ぎ	と	く び

これまででならったかん字⑥

○かん字を書きましよう。

おくりがなも
書きましよう。



か え る	ふ と る	き く	よ む	ひ ろ い	あ る く	あ う <small>(はなしあう)</small>	つ く る	く る	と お る
た か い	お お い	は な す	か く	い く	い う	お も う	お な じ	ち か い	ふ る い
ま わ る	ま な ぶ	な く	こ た え	ほ そ い	う し ろ	し る	か う	な が い	き る

これまでにならったかん字⑦

○かん字を書きましよう。

おくりがなも
書きましよう。



ひかる	うたう	はれる	あたる	とまる	おしえる	たべる	あかるい	かんがえる	たりる
わかる	あける	あたらしい	であう	やりかた	かぞえる	たのしい	したしむ	あきばこ	どくしよ
ごくみ	いちまん	じっかい	さんかい	すいちゆう	かいしゃ	きようしつ	こんしゆう	にちようび	がようし

これまででならったかん字⑧

○かん字を書きましよう。

ぜんぶ
書けるかな？



いちば	とち	りか	げざん	につき	けいと	かいわ	なんじ	でんわ	じかん
ずこう	なまえ	きいろ	あまど	ごご	のはら	きしや	こくご	げんき	じぶん
はんぶん	めいじん	せいかつ	しんゆう	とうばん	かざぐるま	ちようない	まいにち	きんぎよ	こうえん

これまでにならったかん字 ⑨

○かん字を書きましよう。

ひ ろ ば	ご ぜ ん	さ ん す う	か い わ	たい せ つ	とう き よう	お ん が く	に ん げ ん	と し よ	い ち ば ん
				し ん ぶ ん	え ん そ く	こう ば ん	は し る	す く な い	ほ し ぞ ら

おくりがなも
書きましよう。



★冬休み絵日記

上には、絵をかいて、色をぬりましょう。

月

日

曜日

かし組
名前

Blank area for drawing and coloring, defined by vertical dashed lines.

★お正月絵日記

上には、絵をかいて、色をぬりましょう。

月

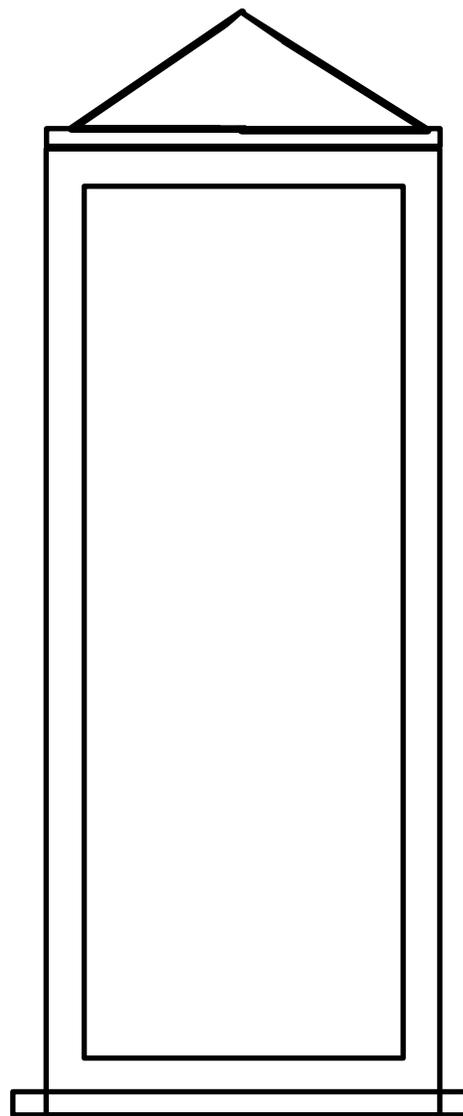
日

曜日

かし組
名前

Blank area for drawing and coloring, defined by vertical dashed lines.

新年のめあて



1月

日	月	火	水	木	金	土